

「バハルダール市のチェシャ財団の障害児支援センターに対する障害児用中古車椅子供与計画」 事業完了報告

当会の森田会長は11月27日から8日間エチオピアで車椅子を引き渡し、維持管理について確認するとともに、次回に供与予定のジマで現状を視察してきました。

2011年11月29日には首都アジスアベバから550キロ離れたバハルダール市のチェシャ財団活動拠点のセンターで引き渡し式を行いました。チェシャ財団モハメッド理事長、日本大使館北岡公使、地区行政幹部、メディア、それに多くの障害児や保護者が出席し、感激と歓喜で心温まる引き渡し式でした。



北岡公使からチェシャ財団モハメッド理事長に目録贈呈。
会場には日本の国旗も飾られた。



引き渡し式に参列してくれた障害児と保護者達

90台の車椅子はそれぞれに適合した
子ども達に供与された

家の中に放置されていた障害児にとって「夢が本当になされた」
これで家の外で太陽も浴びられる、病院や学校に行けるようになったと大喜び。



涙を流しなら、ありがとうと駆け寄ってくれました。
障害児ばかりでなく、日常介護している家族の負担や治療に当たる人にとっても負担が大いに軽減されようになりました。



車いすに乗れて喜び得意そうな子ども達

早く車椅子に乗せたいと急ぐ保護者

引き渡し式の翌日、バハルダール市内の供与した障害児の家庭を訪問しました。
母親もうれしく、幸せそうな顔でした。



どの家も泥で作ったもので、薄暗い。

車いす自由に戸外に出られるようになった。



チェシャ財団はそれぞれ供与した保護者から車いすの借用書を貰っている。



チェシャ財団は大人の介護用車椅子を製造、修理している作業所がある。子ども用の車椅子も部品があれば修理可能